

オウンドメディア原稿（熱中症対策の取り組み紹介）

「物流を止めないために」佐川急便の熱中症対策

従業員一人ひとりが夏季の業務を安全に進められるよう、当社では健康管理と熱中症対策の強化に取り組んでいます。年々気温が上昇し熱中症リスクが高まっていることを踏まえ、日常の体調確認や予防策を徹底しております。

ここでは当社が実施している主な対策をご紹介します。

●熱中症応急キットを全拠点・全車両に常備

屋外で働くドライバーは熱中症のリスクが高いため、迅速な対処ができるように「経口補水液」と「冷却剤」の応急キットを全拠点・全車両に常備しています。

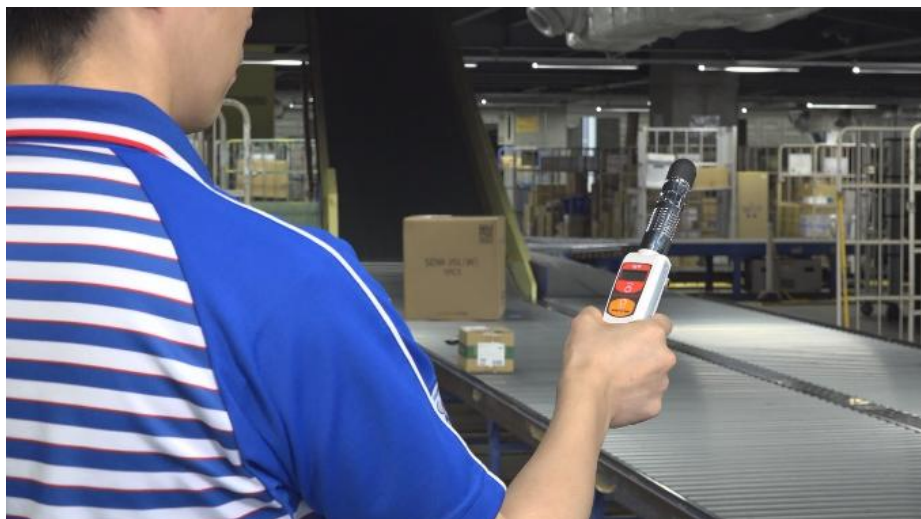
また、塩飴や塩タブレットの配布などにより、熱中症の予防に努めています。



トラックの車内コンソールに常備された経口補水液と冷却剤の応急キット

●WBGT 測定器で暑さ指数チェックを実施

実際の危険度は、気温だけでは判断できないため、湿度・日射/輻射熱・気温の3要素から算出される「熱中症リスクを示す指標」である WBGT 値を午前・午後の1日2回計測し、従業員に頻繁な水分補給や適切な小休憩を取るよう促しています。



WBGT 測定器を用いた暑さ指数チェックの様子

●従業員の健康と安全の管理

佐川急便では、安全な業務運行のために、従業員の体調管理を日常的に確認しています。出発前には運行管理者がドライバーの体調をチェックし、夏季には朝食の摂取状況についても確認することで、体調不良の予防に努めています。

また、熱中症の恐れがある場合の対応フローを全従業員に共有しています。異変に気づいた際は作業を中断し、安全推進課へ連絡して状況を共有します。その後、本人の意識や反応を確認し、異常が認められる場合は速やかに119番へ通報します。自力で水分補給が可能な場合は、涼しい場所で休ませ、経過を見守ることを徹底しています。

さらに、暑さに負けない身体づくりとして、ウォーキングやサイクリング、入浴などによる暑熱順化の重要性も日頃から周知しています。気温が上がる時期に向けて、無理のない範囲で身体を暑さに慣らし、安全に働ける状態を整えるよう呼びかけています。



点呼時の運行管理者による従業員の体調確認

●対策ウェアで熱中症対策を実施

クールファンベストやネッククーラー、ネックファン、ハーフパンツなど、対策ウェアを用いて熱中症対策を行っています。

また、アイ斯拉リーや冷感スプレーの使用、ならびに冷感機能付きアンダーウェアの着用も可能としています。



クールファンベストの使用例

今後も佐川急便は、熱中症対策に万全を期し、従業員が安心して業務に取り組める環境整備に努めてまいります。